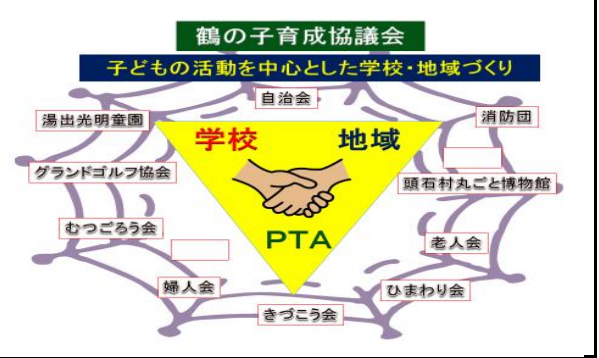


こんな活動です

子どもの活動を中心とした学校・地域づくり ～学校がみんなの居場所～

熊本市水俣市		●活動名 鶴の子育成協議会				●関係する学校名 水俣市立湯出小学校	
協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	27 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人				
学校運営協議会	指定・設置日 令和元年7月25日指定	ボランティアの数	延べ登録人数 443人	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	http://es.higo.ed.jp/vudees/						
●連絡先	水俣市立湯出小学校		☎ 0966-68-0018				

●体制図



●活動の概要・経緯
隣接する湯出中学校が閉校となる以前からも、地区の全世帯がPTAの準会員となり、学校の要請に応じて様々な協力を行っていた。また、小中学校と地区合同の運動会も開催していた。しかし、生徒数の減少により中学校が閉校となると、小学校の児童数も減少し、児童の大半が校区内の児童養護施設から通っている状況である。そのため、様々な育成環境により、本人の意志に関係なく、故郷を離れて住む児童の豊かな心の育成を図る必要がでてきた。高齢化が進む地区の活性化のためにも元々地域にあった様々な組織を結びつけ、学校活動と効果的に関連づけることで、学校と地域の互恵的な関係を築いている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①米作りにおいて、籾の選別、苗作り、田植え、草取り、稲刈り等の児童の活動を支えている。
- ②十数年前から、地域のボランティア団体に太鼓の演奏を児童に指導してもらっている。児童は、その成果として、市主催の音楽会や地域の祭りで太鼓演奏を披露している。
- ③地域住民には学び直し、児童には新たな発見の場となる「鶴の子スクール」を年間10回実施している。昨年度は、パソコン教室や絵手紙教室、スクールミュージアム等を実施し、毎回15名近くの参加があった。

【実施に当たっての工夫】

- ・推進員が学校からの希望を地域に依頼し、地域の希望を吸い上げ、実行に移している。また、必要に応じコーディネーターとの連携を図っている。
- ・「鶴の子スクール」は、学習のねらいからはずれないよう、教育課程に位置付けるとともに多様な活動を計画し、地域住民に学び直しの機会を提供している。
- ・教職員が無理のない範囲で地域行事に関わり、顔の見える関係性を築いている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・地域住民には学び直しの場になるとともに、児童の元気をもらうことで、地域の活性化に繋がっている。
- ・地域住民が繰り返し学校に来て児童と顔を合わせることで、お互いに顔を覚えるようになった。児童にとって、地域住民が教職員や保護者でもない、「ほめてくださる方、話を聞いてくださる方」という存在になっている。鶴の子スクールでは、児童だけでは思いつかないことを地域住民から聞くことで、児童の視野も広がった。
- ・児童養護施設の児童が、卒業後にも、地域住民から声をかけてもらい、本校区を故郷と感ずることができている。
- ・教職員と地域住民との良好な関係を築いている。

● その他

校区内の各種団体の長が湯出小学校運営協議会のメンバーになっているので、活動に広がりが出ている。



一鶴の子スクールで地域の方と一緒に絵手紙を作成



地域の夏祭りに太鼓の演奏で